



## コロナ対策臨時交付金はどう使われる？

本年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、3月から小中学校の臨時休校や「道の駅 あそ望の郷」を始め、3つの温泉施設、また、多くの民間宿泊施設等が休業を余儀なくされた。そんな中、国より新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付された。そこで今回は、村独自の2次補正交付金の使い道についてレポートする。(1次補正分は「すいげん」Vol.50)

### 2次補正分 コロナ対応臨時交付金 (6月定例会及び7月臨時会補正)

所管	事業名称	事業の目的・効果	総事業費 (交付対象)
教育委員会	公立学校情報機器整備費補助金等	GIGA スクール構想に伴い児童生徒にタブレットを1人1台導入する経費	3189.8万円 <b>(2920万円)</b> 国庫補助 230万円 他 39.8万円
	学校からの遠隔学習の強化事業	学校が臨時休業中でも遠隔学習ができるための機器整備	429.6万円 <b>(405万円)</b> 国庫補助 10.5万円 他 14.1万円
	学校保健特別対策事業	学校が集団感染のリスクを避けるため保健衛生用品を購入する事業	624万円 <b>(305万円)</b> 国庫補助 311.8万円 他 7.2万円
産業観光課	宿泊支援助成金	低迷する村内観光業を支援し、観光客の誘致と地元消費の拡大を目的とする助成金	1200万円 <b>(1150万円)</b> 他 50万円
	持続化給付金申請業務委託	国の持続化給付金申請の迅速化を図るため	200万円 <b>(190万円)</b> 他 10万円
	休業支援給付金	指定管理施設の休業要請に伴う支援金	6000万円 <b>(6000万円)</b>
農政課	雇用促進事業	失業を余儀なくされた村民の生活維持及び農業者の労働力解消等を図るため賃金の一部を補助する	72万円 <b>(70万円)</b> 他 2万円
	出荷農家支援金	村の要請により休業した道の駅に農産物を出荷している農業従事者に対する支援事業	226万円 <b>(200万円)</b> 他 26万円
政策企画課	関東関西村人会  県外学生農産物送付	県外在住 (村人会・学生等) への支援及び村内農家への支援	110.4万円 <b>(105万円)</b> 他 5.4万円

### (9月定例会補正)

所管	事業名称	事業の目的・効果	総事業費 (交付対象)
教育委員会	統合小学校スクールバス導入事業	コロナ対策として、統合小学校のスクールバスを増台する	1000万円 <b>(950万円)</b> 他 50万円
	小学校電子黒板整備事業	GIGA スクール構想に伴い学校が休業してもオンライン事業等を行うための整備事業	5748.6万円 <b>(5700万円)</b> 他 48.6万円
産業観光課	商工業支援金	売り上げが減少した事業者の新たな取り組みに持続化補助金交付	1000万円 <b>(950万円)</b> 他 50万円
	トロッコ列車予約システム導入	運休したトロッコ列車の集客に向けた予約システムの導入に対し補助金交付	150万円 <b>(75万円)</b> 県補助金 75万円
次世代定住課	移住・定住・就業促進事業	都市部から地方での生活・就業の支援を行う	849.5万円 <b>(530.2万円)</b> 他 319.3万円